

■平成 31 年 3 月 18 日号 (第 1634 号)

- ・港湾局 港湾請負工事積算基準の改定＝現場管理費率改定、新たな歩掛制定等
- ・港湾局等 スーパーヨット受入拡大を＝関係省庁連絡会議、誘致へ環境整備
- ・東日本大震災 国交省、復興対策会合開催＝港湾、海岸の復興・創生
- ・みなと総研 「未来のみなとづくり」＝19 年度助成募集を開始
- ・港湾入札制度等＝来年度の新規、見直し
- ・ピア研 欧州ピア調査報告書＝3 か国の実態まとめ
- ・日本全国みなと便り (10) 広島港ほか
- ・横浜港 コンテナターミナル再編整備事業＝新本、水深 18m 以上岸壁など
- ・横浜港 事業評価調査案を公表＝新本牧ふ頭第 1 期地区
- ・鹿島港 防波堤本体工事 2 件＝外港地区、中央防波堤付属施設も
- ・徳山下松港バルク 新年度から下松岸壁工事＝渡橋部栈橋築造など予定
- ・神戸港 第 5 防波堤撤去工事追加＝W T O でケーソン本体等
- ・福山港 ふ頭再編改良事業に着手＝産業の国際競争力強化へ
- ・津松阪港海岸フラップゲート式陸閘＝完成報告会を開催
- ・福島沖浮体風力 2 基継続運転、1 基撤去へ＝2 MW・5 MW 安定稼働を
- ・港湾局 護岸・係留施設の耐震改修支援＝残り 1 年、税制優遇期限迫る
- ・京浜港ドック 海洋・港湾技術実用推進協＝関東地整、4 月に技術公募予定
- ・広島空港 民営化へ実施方針を公表＝2021 年 4 月に運営開始
- ・北陸地整 活性化検討会を開催＝31 年度実施計画まとめ
- ・国際物流戦略 (中国地整) 利用者懇談会で意見交換＝徳山下松・三田尻中関港
- ・アセアン スマートコールドチェーン＝国交省、ビジョン、戦略策定
- ・大阪湾 L N G 燃料タグボート竣工＝商船三井、西日本で初
- ・共同研究組織を公募＝国交省所管分野

■平成 31 年 3 月 11 日号 (第 1633 号)

- ・港湾分科会 4 港の港湾計画改訂を了承＝基本方針見直し、5 港の一部変更も
- ・下司港湾局長 戦略港湾等の方向性語る＝クルーズ拠点、基地港湾も
- ・港湾局 横浜新本牧など 5 事業＝31 年度新規採択を答申
- ・港湾局 高潮リスク低減検討委＝ガイドライン改訂案
- ・沿岸センター 港湾構造物設計事例集＝平成 30 年改訂版発刊
- ・日本全国みなと便り (9) 平良港
- ・仙台塩釜港 本体製作工や中仕切堤等＝塩釜港湾、仙台港区ふ頭再編改良
- ・横浜市 Y K I P 増資を議決＝今後の設備投資に対応
- ・敦賀港 鞠山南 2 期に 10 億円＝福井県がふ頭用地造成
- ・31 年度新規着工 下関、那覇港クルーズ＝岸壁等の整備に着手へ

- ・高知港海岸 二次補正で堤防改良延伸＝鋼管杭による本体工事等
- ・石井大臣が大阪府内視察＝防潮堤耐震化現場や万博会場アクセス
- ・官民クルーズ拠点 那覇港、下関港を追加指定＝専用岸壁、ターミナルビル整備等
- ・横浜港 LNGバンカ船建造に着手＝3 社合弁会社、2020 年から運航
- ・国交大臣表彰 ジャパンコンストラクション国際賞＝空港建設プロジェクト、日建工学等
- ・最大 50 万 kW 秋田中央海域洋上風力＝環境アセス配慮書を公表
- ・配慮書縦覧 秋田洋上風力発電事業＝9500kW 級 158 基設置
- ・関東地整 クルーズサポートチーム会合＝官民連携、受入れ円滑化推進
- ・関東地整 シャーシ共同利用化へ＝ICT活用、横浜港で実証実験
- ・再エネ事業者協議会設立＝政策意見等を集約・提言
- ・国交省 交通運輸新規研究を公募＝AI・ロボット技術等
- ・関西エアポート オペレーション機能強化＝4 月、総合対策本部設置
- ・GWEC 世界の風力発電統計＝洋上 4.5GW 新規導入
- ・土木学会がラジオ番組＝5 月開始、初の試み

■平成 31 年 3 月 4 日号（第 1632 号）

- ・コンテナ戦略港湾 新政策目標、個別施策を検討＝推進委年度内公表、アジア広域集荷、AI 等
- ・洋上風力 促進区域の公募手続き検討＝合同会議、基地港湾整備の在り方等も
- ・国交省 技術政策の取組み検討＝基本政策懇談会を開催
- ・国交省 次期計画策定へ合同会合＝社会資本整備、交通政策
- ・日本全国みなと便り（8）高知港ほか
- ・敦賀港 鞠山南地区 14m 岸壁整備＝WTO 案件、地盤改良を第 2 四半期
- ・酒田港 第 2 防波堤の延伸整備＝北港地区、築造と本体工事手続き
- ・石狩湾新港 都内でセミナー開催＝農水産品の輸出促進
- ・東京都 新客船ふ頭整備など＝新年度予算債務負担
- ・北九州市 響灘洋上風力建設に対応＝31 年度から響灘基地建設
- ・下関港海岸 新川水門の整備を予定＝地盤改良工等手続きへ
- ・津松阪港海岸 補正予算で 4 件工事追加＝栗真延伸部は設計作業中
- ・清水港 日の出ふ頭の岸壁改良＝クルーズ需要増等に対応
- ・埋浚協会 うみの現場見学会を開催＝大学生ら、臨海道路南北線の工事等
- ・苫小牧港 LNGバンカリング拠点形成へ＝苫小牧港管組、JAPEX、官民の検討会設置
- ・カンボジア 港湾近代化へ電子化支援＝港湾 EDI、無償資金協力 13 億円
- ・係船作業 IMO が国際ルールまとめ＝安全対策、条約改正、ガイドライン案

- ・伊勢湾・三河湾 LNGインセンティブ創設＝拠点形成へ入港料免除
- ・那覇港 国際クルーズ拠点整備＝新港ふ頭水深12m岸壁
- ・東亜建設工業 洋上風力推進部を新設＝監査監督機能強化も
- ・商船三井 アジア最大級LNG供給船＝シンガポール、長期備船契約
- ・国交省 ミャンマー次官級会合開催
- ・津波防災情報図 東日本震災モデルを追加＝福島、宮城、岩手港湾等

■平成31年2月25日号（第1631号）

- ・港湾局 来年度ICT本体工に着手＝ICT活用拡大、モデル工事、実施要領整備
- ・国交省 魅力ある建設現場実現へ＝検討委、誇り・やりがい向上を
- ・港湾局 第2次補正の港別予算配分＝緊急対策等、横浜港40億円等
- ・国交省 外国人技能実習の基準＝見直しへ事業協議会
- ・日本全国みなと便り（7） 苫小牧港、白老港
- ・秋田港 洋上風車等の取扱いに対応＝飯島地区、12m岸壁へ増深と延長
- ・横浜港 地盤改良やケーソン＝新本牧埠頭整備事業
- ・横浜港 本牧再編の調査検討＝新規岸壁や基部埋立て
- ・釧路港 都内でポートセミナー＝市ら主催、バルク港湾の第1号
- ・境港 竹内南の水深10m岸壁＝PC桁の製作・架設工等
- ・八代港 国際クルーズ岸壁整備＝築造工追加、床版製作
- ・和歌山下津港海岸 発注見通しに工事3件＝新たに船尾南護岸着手
- ・五洋建設大型SEP わが国洋上風力の幕開け＝北九州港で入港式開催
- ・経産省 海洋エネ・鉱物資源計画改定＝MH、海底熱水鉱床開発など
- ・DeSET 海底探査技術開発プロジェクト発表会＝日本財団・リバネス、海洋調査の洋上無人化等
- ・北陸地整 港湾連携で事業継続図る＝BCP取組み強化へ議論
- ・鹿島港振興協会 鹿島港セミナーを開催＝航路網充実等をPR
- ・九州地整・埋浚 若手技術者が成果発表会＝情報交換でスキルアップ
- ・二次補正 港湾海岸別の予算配分＝和歌山下津に12億円等
- ・オリックス 洋上風力発電事業参入へ＝銚子沖で事業性調査
- ・住友商事 海外洋上風力ファンド設立＝日本初、最大300億円程度

■平成31年2月18日号（第1630号）

- ・第2次補正予算 港湾局関係に約596億円配分＝ゼロ国債184億円、緊急対策361億円等
- ・港湾局・海事局 内航海運の活性化へ協議会＝来年度、ハード・ソフト施策検討へ
- ・東北クルーズ講演会開催＝新たな魅力発信に向けて

- ・ 稚内港湾事務所 人事院総裁賞を受賞＝宗谷港の低潮線巡視
- ・ 日本全国みなと便り（6）酒田港
- ・ 川崎港 臨港道路は主橋上部工へ＝主要プロ、堀込部はケーソン据付
- ・ 金沢港 30年度補正で3件発注＝無量寺岸壁、海上地盤改良や浚渫
- ・ 仙台港セミナー コンテナ取扱量増加＝4年連続で過去最高
- ・ 博多港 国際コンテナターミナル岸壁の延伸部＝ジャケット製作据付追加
- ・ 名古屋港 金城ふ頭ケーソン製作＝CDM地盤改良も追加
- ・ 水島港 国際バルク戦略港湾＝航路・泊地浚渫手続き
- ・ 佐世保港 岸壁ジャケット据付＝クルーズバース工事
- ・ 東扇島防災拠点 初動体制の管理運営訓練＝ヘリの夜間離発着も実施
- ・ 航空局 2次補正予算に172億円配分＝浸水・耐震対策等、羽田空港に54億円
- ・ 苫小牧港セミナーを開催＝新岸壁整備など、利用促進へPR
- ・ 新潟県 促進区域指定へ検討着手＝一般海域の洋上風力導入
- ・ エネ庁、港湾局 促進区域の情報提供受付＝都道府県、有望区域選定へ
- ・ 国交省 女性活躍推進セミナー＝全国大会、建設産業の取組拡大を
- ・ 岡山県ら 東京で水島港セミナー＝利便性や経済性等説明
- ・ 協定締結 クルーズ船受入へ7市連携＝寄港地観光の活性化
- ・ JOGMEC 米国でメタンハイドレート＝試掘調査、賦存確認

■平成31年2月11日号（第1629号）

- ・ 再エネ海域利用法 一般海域の洋上風力導入へ＝手続き・基準案、年度ごとに促進区域指定等
- ・ 港湾局 釣り文化振興促進モデル港＝指定へ募集開始、防波堤等の利活用
- ・ 港湾局 高潮リスク低減方策検討委＝ガイドライン、コンテナ流出、浸水対策
- ・ 国交省 オンライン電子納品＝2020年運用へ試行
- ・ 国交省 社整審・交政審合同会議＝自然災害、技術革新等
- ・ 国交省 インドネシア次官級会合＝菊地技監、建設分野の協力推進
- ・ 日本全国みなと便り（5）神戸技調
- ・ 新潟港 北護岸の嵩上げ工事促進＝西港区、航路泊地付帯施設整備
- ・ 伏富港 1工区ケーソン据付、富山地区2号岸壁改良
- ・ 岩手県 ポートフォーラム開催＝重要港湾4港の取組み
- ・ 福岡空港 滑走路増設工事本格化＝用地造成等手続き開始
- ・ 広島港 港湾計画を地港審で了承＝国際物流、国際交流拠点
- ・ 堺泉北港の次期改訂計画＝中古車取扱機能の強化等
- ・ 大阪港 次期港計を地港審で了承＝夢洲の土地利用変更等
- ・ 五洋建設 SEP型多目的起重機船公開＝海洋土木工事も、10MW級洋上風力に対応

- ・福岡市ら 博多港振興セミナー開催＝高島市長、優位性等をPR
- ・NEDO シーズ技術開発を支援＝公募開始、洋上風力など重点化
- ・三井E&S 表層型MH揚収技術確立へ＝シミュレーション開発
- ・NEDO 浮体式洋上風力システム実証＝基盤調査など実施へ
- ・ピア研 欧州3区に栈橋調査報告＝第6回フォーラム開催
- ・鹿島港 JICA研修員が視察＝港湾戦略運営コース
- ・国交省 国際港湾周辺の物流拠点＝高度化の補助事業公募
- ・海事局 造船の生産性革命技術＝補助対象事業を募集

■平成31年2月4日号（第1628号）

- ・自民党港湾議連総会開催＝首長が港湾整備促進要望
- ・港湾分科会 基本方針の見直しを議論＝戦略的取組事項を明記
- ・中国管内内クルーズ動向＝昨年は過去最高474回
- ・日本全国みなと便り（4）鹿島港、茨城港等
- ・苫小牧港 地港審で一部変更案了承＝管理組合、真古舞地区でマイナス12m岸壁
- ・横浜港 外周護岸の細部検討＝新本牧ふ頭1期計画
- ・関東地方整備局 横浜港ふ頭保安設備＝合同点検を実施
- ・川崎港 東扇島水江町線整備＝再評価で事業継続了承
- ・名古屋港 金城ふ頭整備が本格化＝来年度ケーソン製作も
- ・鹿児島港 クルーズバース整備＝ケーソン製作の手続き
- ・神戸港 航路附帯施設地盤改良＝第4工区の手続き開始
- ・水島港 国際バルク戦略港湾＝31年度に仕上げ工事へ
- ・みなと総研・SCOPE ブルーカーボン講演会＝全国の藻場造成等報告
- ・塚田副大臣 米国でトップセールス＝クルーズ船社等と会談
- ・港湾局 コンテナ戦略協議会開催＝情報共有し機能強化議論
- ・洋上風力 促進区域検討の合同会合＝港湾局・エネ庁、基準、指定プロセス等
- ・東京電力 洋上風力最大手と覚書＝銚子沖WF化等を検討
- ・CNAC 第13回全国フォーラム＝海の多様性、SDGs目標を考える
- ・日本郵船 飛島クルーズ共同運営＝NYK C株式50%譲渡
- ・JOIN ティラワ港ターミナル運営に出資＝国交大臣認可、2億円
- ・三井マシナリー、エクアドル向けガントリークレーン受注
- ・東洋建設 本社など移転＝2月25日から神保町

■平成31年1月28日号（第1627号）

- ・港湾局 重要港湾等主幹課長会議＝港湾政策方向で意見交換
- ・「PORT2030」＝港湾政策に活かす取組み

- ・港湾協会ら主催 新春賀詞交歓会開催＝予算増で活気溢れる
- ・港湾協会 ポート・オブ・ザ・イヤー2018＝紋別港が受賞、表彰式
- ・国交省 i-Con 大賞授賞式＝先進的取組を称える
- ・日本全国みなと便り（3）下関港
- ・久慈港 WTO案件で5件手続き＝湾口地区防波堤の築造及び本体工
- ・川崎港 橋梁下部工の手続き＝東扇島水江町線整備
- ・網走開建 航路護岸、東防波堤など＝第2湖口、サロマ湖漁港の整備
- ・【特集】西日本地区の臨港道路
- ・中国地整 埋浚協会の災害対応＝港湾局長感謝状伝達
- ・港湾局 2018年クルーズ実績公表＝速報値、寄港回数は過去最高記録
- ・JWPA 風力発電設備の導入実績＝2018年速報、運転済総設置容量3584MW
- ・関東地整 新・港湾情報システム試験運用＝コンテナ輸送効率化へ
- ・海事局 日印海運政策フォーラム＝インド港湾整備など要請
- ・環境省 ゴーニング事業実証事業＝洋上風力対象の公募開始
- ・水産庁 基盤整備、防災・減災＝来年度予算案710億円
- ・水産庁 流通拠点漁港の緊急対策＝3ヵ年で60漁港目標
- ・国土強靱化 年次計画2019検討着手＝ベンチマーク指標導入へ
- ・日本海連合 海洋資源フォーラム開催＝1/31、新潟市内で

■平成31年1月21日号（第1626号）

- ・洋上風力 一般海域導入促進へ取組＝港湾局、促進区域、基地港湾整備を
- ・国交省 建設業の人材確保・育成へ＝来年度重点的に取組み推進
- ・観光庁 水上交通の充実等を支援＝2019年度新規制度
- ・日本全国港便り（2）清水港ほか
- ・茨城港 12m岸壁、東防波堤促進＝常陸那珂港区、新たな土砂処分場も
- ・東京港 クルーズ船2隻対応＝臨海副都心、港湾施設拡張を検討
- ・敦賀港 海上地盤改良に着手＝作業船アンカーも製作
- ・大阪港 航路附帯施設、31年度概成＝護岸（1）はWTO2件
- ・大阪港 次期港湾計画素案示す＝外貿コンテナ機能強化等
- ・北九州空港 滑走路端安全区域確保＝2ケースで基本設計へ
- ・堺泉北港 汐見沖に大型バース計画＝中古車取扱機能を強化へ
- ・JWPA 31年新春賀詞交歓会開催＝洋上風力「元年」導入目標設定、インフラ整備を
- ・観光庁 インフラの観光資源化等へ＝モデル地区検討、推進方策
- ・SCOPE 洋上風力セミナー開催＝MWS設置に向け準備中
- ・航空局 空港舗装の劣化予測など＝年度内に新システム構築
- ・神戸市・アバディーン市 海洋産業振興などで覚書＝WECF加盟も目指す

- ・東洋建設 三浦研究所見学、体験講座＝小学生ら 50 名が参加
- ・IHO/IOC委員会＝日本提案の海底地形名 73 件が承認
- ・近海郵船 RORO船新規定期航路＝4月から敦賀港／博多港

■平成 31 年 1 月 14 日号（第 1625 号）

- ・官民連携クルーズ 拠点指定へ下関、那覇が応募＝計画書提出、新バース、CT整備等
- ・阪神国際港湾 海外港湾公社の株式取得＝海外インフラ展開法、シハヌークビル港
- ・航空局 空港コンセッション検証＝有識者会議が報告書
- ・石井大臣 ベトナム・インドネシア訪問＝港湾・航空分野で協力
- ・海事局 海事生産性革命の深化等＝来年度予算案約 97 億円
- ・【新シリーズ】日本全国みなと便り（1）新潟港
- ・東北特集 小名浜港など 9 港の現況＝主要プロ、岸壁整備やふ頭再編等
- ・横須賀市 国道 357 号南下延伸＝市案ルートの選定へ
- ・網走港 施設整備の検討業務＝旅客船大型化に対応
- ・神戸港 六甲南国際海上コンテナターミナル＝直轄で施工計画等検討
- ・広島空港 R E S A 東側に 60m 延伸で検討＝切盛土により用地確保
- ・指宿港海岸 離岸堤の築造工事進む＝今後は護岸改良にも着手
- ・佐世保港 クルーズバース進捗＝ジャケット据付開始
- ・蝦名国土交通省航空局長「年頭の辞」
- ・企業トップの年頭所感
- ・JOPCA 第 2 回カンボジアセミナー＝プノンペン、シハヌークビルで開催
- ・五洋建設 SEP 型起重機船が完成＝大型クレーン搭載、洋上風力設置等に活用
- ・東洋建設ら ティラワ地区竣工式典＝ミャンマー栈橋等を整備
- ・NEDO 低コスト化の実証着手＝浮体式洋上風力発電
- ・JOGMEC 新たな海底熱水鉱床確認＝青ヶ島沖、高品位

■平成 31 年 1 月 7 日号（第 1624 号）

- ・31 年度予算案 港湾局関係 1.19 倍の 2,952 億円＝コンテナ戦略港湾 790 億円、緊急対策 414 億円等
- ・港湾局関係 二次補正予算案 515 億円＝防災・減災、国土強靱化等
- ・国交省 i-C o n 対象 25 団体＝受章者発表、大臣省など
- ・新春のご挨拶 石井国土交通大臣
- ・新年のご挨拶 下司国土交通省港湾局長
- ・港湾局関係 来年度の新規制度等 7 件＝港湾電子化、洋上風力、浸水対策等
- ・航空局 空港整備勘定 4,288 億円＝2019 年度予算、機能強化・緊急対策など
- ・港湾局・エネ庁 一般海域洋上風力の合同会議＝促進区域指定、事業者選定等

- ・国総研 2019年度新規5課題＝生態系サービス見える化等
- ・国総研2次補正予算案＝過去最大規模の25億円
- ・みなと総研 新みなとまちづくりへ＝第2回研究会開催し議論
- ・東洋建設 機械式シート敷設＝管理型海面処分場に初適用
- ・OCDI 平成30年度講演会開催＝一带一路、カンボジア港湾等
- ・関門航路事務所 流木等の発見、回収＝官民合同防災訓練実施
- ・港湾局 サイバーポートWG開催＝データ連携基盤構築へ
- ・近畿地整 大阪港湾等の高潮対策＝検討委が視点示す